

兄弟姉妹の皆様

私たちのローマのパパ様・フランシスコ教皇様は今回のシノドスにおいて、「第2バチカン公会議を見直し、立ち戻り、生かしてほしい」とメッセージをくださいました。

2022年待降節から、ミサの式次第が新しくなりました。これも、その新しい流れの一つです。

今回はサンパウロ発行 第2バチカン公会議 公文書全集 南山大学監修「第2章 聖体の聖なる秘儀」を解説します。

私たちも、ミサや祈りに主体的に関われるように、一緒に学びましょう。

尚、わかりやすい表現を用いるため、多くの資料を参考にさせていただいておりますことをはじめにお伝えしておきます。

主任司祭 ペトルス・ウィリー・ソバ・ドイ O.C.D.

第2章 聖体の聖なる秘儀

典礼憲章

②⑤

～第二バチカン公会議公文書より～

ミサ全体への参加：ミサは2つの部分、【ことばの典礼】と【感謝の典礼】から構成されていますが、その2つは相互に結ばれて、1つの礼拝行為を成しています。

ですから公会議は、司牧者が信徒たちに対して

- ・ミサ全体に参加すること
- ・【主日】と【守るべき祝日】には特にそうすること

の大切さを理解するように、また、「**そうすべきこと**」であることを熱心に教えることを強く勧めます。

(つづく)